

ITS World Congress 2022技術動向調査

特別講演

ICTが交通の原動力に

～ICT Runs Transportation～

10月7日(金) 15:00-17:00

オンラインにて開催(Microsoft Teams)

協賛: 公益社団法人自動車技術会 一般社団法人日本機械学会 一般社団法人電子情報通信学会
名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所(GREMO)

ITS世界会議は、交通の高度化を世界規模で議論する年に一度の大会です。会合には、産学官で交通問題に取り組む人々が集まり、各地域・各国のITS構想や実施状況について情報交換がなされます。また、実用化に向けて開発中の技術を「体感できる」ことも大きな魅力です。今年も、米国にて9月18日から22日までの5日間開催されました。

今年のITSWorld Congressでは、MaaSや自動運転の話題が急減しました。いっぽうで、交通弱者(VRU)の保護が前面に出され、能動的保護のためにICT技術への期待が高まっていました。ただし、ICT技術の中核である「通信」、特に、車両やVRUに対して最小限の遅延で情報を伝達する通信技術について、模索が続いています。米国では、2020年に周波数帯域幅と通信方式が全面的に変更になりました。これに対して、自動車業界がどのような対応をしているかを報告します。また、既に100万台以上の車両に通信機能が搭載されている欧州では、何が行われているかも情報収集できましたので解説します。

～講師紹介～

杉沼 浩司 NU-CAR客員研究員 (日本大学生産工学部)

経歴: カリフォルニア大学アーバイン校博士課程修了後、ソニー(株)にてパーソナルモビリティ、信号処理、衛星通信、知的情報システム、AV用半導体などの研究開発を担当。

現在は、映像新聞論説委員、日本大学生産工学部講師(非常勤)、同校自動車工学リサーチ・センター(NU-CAR)客員研究員として活動。計算機アーキテクチャと通信を主たる研究領域とし、自動運転、ドローン自動操縦などに研究領域を拡げています。



申込方法

下記サイトもしくはQRコードより お申込みお願い致します。

<https://forms.office.com/r/W9VHnzejc>

参加費: 8,000円(当センター賛助会員は、1口6名無料)

※主催者側の都合で開催中止の場合、返金します

お問合せ

日本大学生産工学部 自動車工学リサーチ・センター(NU-CAR)

Phone: 047-474-3188, E-mail: cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp

千葉県習志野市泉町1-2-1

